

アジア経済危機後のインドネシアにおける水 ビジネスと土地紛争、西スマトラの事例研究

中島, 成久 / NAKASHIMA, Narihisa

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

科学研究費補助金研究成果報告書

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

4

(発行年 / Year)

2010-06

様式 C-19

科学研究費補助金研究成果報告書

平成22年 6月17日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007 ～ 2009

課題番号：19520711

研究課題名（和文） アジア経済危機後のインドネシアにおける水ビジネスと土地紛争、西スマトラの事例研究

研究課題名（英文） Water Business and Land Issue in Indonesia after the Asian Economic Crisis, A Case Study of West Sumatra

研究代表者

中島 成久 (NAKASHIMA NARIHISA)

法政大学・国際文化学部・教授

研究者番号：80117184

研究成果の概要（和文）： 1990年代、とりわけアジア経済危機を経て、国際的なミネラルウォーター資本がインドネシアの水道事業に介入した。インドネシアでは民営化の影響で、現在水が危機にさらされている。

3年間の研究では、以下の3点について集中的な調査と、文献研究を行った。

- ① ジャカルタ市水道公社の民営化委に至る経緯と民営化後の水道サービスへの影響の調査、および、ジャカルタ北部の低所得者居住地区での地盤沈下と海水の侵入、水道サービスの劣化の現状
- ② 西ジャワ州スカブミ県でのミネラルウォータービジネスの実態とその住民生活への影響の実態調査
- ③ 改革時代の西スマトラ州では共有地返還闘争が頻発しているが、良質な水源をもつ村では地方政府の水道事業による水源利用への補償を求める動きが活発化したので、その実態調査。また、地方自治の時代に権限を拡大した県知事による新たな水道事業で、「水戦争」が発生したことの経緯を調査した。

水という公共性の非常に高い資源が民営化されると状況が何をもたらすのかという問題に大きな示唆を与えることができる成果を得られた。

研究成果の概要（英文）： Water is a natural resource which has the most important public value. In Indonesia, since the influence of privatization of the Public Water Company of Jakarta City, in 1995, water as a natural resource has been under crisis. Especially since the Asian Economic Crisis between 1997 and 1998, several water business companies started investments in Indonesia. During the three year long research period, I have done survey on three points mentioned below.

- (1) Process and influence of the privatization of The Jakarta City Public Water Company, especially for poor people who are living in the North Coast of the Jakarta City.
- (2) Influence of the mineral water business companies to the daily life and economic activities to the local people of the District of Sukabumi, West Java.

- (3) Research of the communal land struggles in West Sumatra which claimed compensations to the regional water supply companies which had used the rich water springs in those communal lands, and 'Water War' in the villages which have been using water for irrigation from a spring.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,100,000円	330,000円	1,430,000円
2008年度	800,000円	240,000円	1,040,000円
2009年度	800,000円	240,000円	1,040,000円
年度			
年度			
総計	2,700,000円	810,000円	3,510,000円

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・文化人類学・民俗学

キーワード：

アジア経済危機、インドネシア、水ビジネス、土地紛争、西スマトラ、西ジャワ・スカブミ県、ジャカルタ市水道公社、水戦争

1. 研究開始当初の背景

研究開始の背景は、インドネシアの土地紛争の研究である。

西スマトラ州のいくつかの土地紛争のケースでは、水利権と共有地権が密接に結びついていることが確認できた。

また、インドネシアでは1970年代から西ジャワのスカブミ県を中心として、ウォーター・ビジネスが盛んになったが、1997～98年の経済危機を経て、IMF や世界銀行の融資の条件として、水資源の民営化が推進された。

そうしたケースを土地紛争との関連でインドネシア全体でみた場合どのような因果関係の連鎖のなかに位置づけられるのかが、大きな課題として浮上してきた。

2. 研究の目的

1990年代にインドネシアの水ビジネスは国際水ビジネス資本との提携を模索し、水利事業の民営化が1997～98年のアジア経済危機後一層推進された。

水資源の利用は1974年の「水利利用法」により、水道公社が各地の水源地を水道用水として利用が可能になった。

ところが、1990年代以降急速に拡大したウォーター・ビジネスは、水資源を経済的な目的に利用できる法令を強くインドネシア政府に迫った。

国際水資本の要請により、インドネシア政府は2004年「新水利水源法」を施行したが、その影響はインドネシアの地域社会に顕著に表れていて、その実態の解明が急務であると考えられた。

3. 研究の方法

3年間に次の3点の研究調査を行った。

まず西スマトラ州における土地紛争の研究の一環として従来の研究を継続し、「水戦争」の実態を報告した。

これは、カパロ・ヒラランというこの10年来継続して観察してきている調査地で、新県都建設により、カパロ・ヒララン周辺の8村が利用している灌漑用水が、新県都への給水事業により大きな影響を被る可能性が出てきたために、生じた紛争で、その背景には、地方自治時代に権限を拡大した県知事の権力の乱用という事実が地方自治時代の矛盾として雨情していることを示す好例である。

次に、インドネシアにおける水ビジネスの集積地である西ジャワ州スカブミ県でのウォーター・ビジネス産業の実態とその地域社会における影響を調査した。

スカブミ県は周囲を3つの火山で囲まれ、年間2000ミリの降水量のある土地で、豊かな水資源に恵まれていた。ところが、ジャカルタに近いという立地条件の良さが、資本投下を容易にし、インドネシアを代表する水ビジネス資本が大規模な投資を行い、水源を囲い込み、表層水のみならず、深井戸を掘って深層地下水の取水を行っている。

だがそうした過剰な水資源の経済的な資源としての利用は、当然、地域社会へ多大な影響を及ぼしている。その実態調査が必要とされている。

さらに、1995年民営化されたジャカルタ市水道公社の民営化の影響を、ジャワ海に面する貧困地帯でのインテンシブな調査で明らかにした。

4. 研究成果

研究目的で挙げた3点については、ほぼ完全に所期の目的に達成する成果を上げるこ

とができた。

詳しくは5の発表論文で明らかになるが、2009年8月、韓国の大田で開催された第6回国際アジア研究者会議（ICAS6）で、以下のタイトルの発表を行った。

その内容は、隣接する村同士の境界争い、水利権をめぐる伝統的な争いが、「共有地権」をめぐる対政府との戦いのなかで、両者の足元の乱れをつかれ、一方の当事者への激しい暴力の温床になっていることを明らかにした。

2009年8月8日

NAKASHIMA, Narihisa

Violence in the Time of *Reformasi*: A Case Study of Communal Land Struggle in West Sumatra, Indonesia, paper presented at ICAS 6 (international Convention of Asia Scholars), Daejeon, South Korea

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① NAKASHIMA, Narihisa, Oil Palm Development and Violence, A Case Study of Communal Land Struggle of Kapar, West Sumatra, Indonesia, 「異文化」論文編 11号、pp137-176、2010年、[査読なし]
- ② 中島成久、水をめぐる紛争——西スマトラの水利事業、「異文化」論文編 11号、pp177-212、2010年、[査読なし]
- ③ 中島成久、発展するウォーター・ビジネスの陰で起きていること～民営化と地域社会への影響、「インドネシア ニュースレター」第68号、PP 43-53、2009年、[査読あり]

[学会発表] (計 1 件)

- ① NAKASHIMA, Narihisa, Violence in the Time of *Reformasi*: A Case Study of Communal Land Struggle in West Sumatra, Indonesia, paper presented at ICAS 6 (international Convention of Asia Scholars), Daejon, South Korea, 2009 年 8 月 8 日

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中島 成久 (NAKASHIMA NARIHISA)

法政大学・国際文化学部・教授

研究者番号：8 0 1 1 7 1 8 4